

伯耆大山（弥山）山旅記録

☆日程：令和4年10月31日（月）～11月3日（木）

☆参加者：高木（L）、三浦、松山、鈴木、若林（元会員/山口在住）

半年前から計画のありました紅葉満開の伯耆大山に登ってきました。東京都から4人、山口県から1人の5人パーティでの山行でした。

1日目「10月31日（月）」

東京駅発7：03ひかり号にて出発、途中岡山で特急やくもに乗り換え米子駅に14：17に着きました。山口からの参加者若林さんと合流し、ジャンボタクシーで伯耆大山の麓のホテルまで移動、途中伯耆大山の拝める場所で記念撮影し、ホテルにて入浴食事を済ませ、明日の天候を憂慮しながら就寝しました。

2日目「11月1日（火）」

6：00起床天気は曇り、前日に用意してもらった朝食弁当を持って、大山ナショナルセンターまで移動、ここで、ロッカーに大きな荷物を預け、登山口まで移動、登山届をポストに入れ7：00に登山開始（標高780m）1合目までは、大山寺界隈の境内散歩といった感じで緩い石段を登っていきました。阿弥陀堂を右に見て、いよいよ山道です。2合目、3合目と大変整備された登山道を進むと、小雨が降りだし、辺りの景色も霧にかすれてきました。他の登山者は5組くらいで、ゆっくり歩を進めると4合目、本来、天気ならば、日本海、宍道湖、隠岐の島が見え、爽快な気分を進めるはずでしたが、この先眺望は期待できませんでした。程なく5合目を過ぎ、急坂を登ると6合目避難小屋（標高1350m）に到着（9：30）。ここで朝食を取る、各自用意された弁当、パン等を食し、大休憩。この避難小屋はトイレもあり、定員6名ほどの立派なものでした。食でエネルギーを得、あと2合で木道にでることを念頭に置き7.8合（標高1588m）の急坂を登りました（10：50）。大山キャラボク【イチイ】を保護するための木道に到着、とっつきは強風で少々煽られました不安を感じることはありませんでした。木道を20分程度進むとさすがに大山頂上小屋が見え、5分で大山頂上（1709m）を極めました。（11：20）絶景かな・・・はダメでした。温かいココア等を飲み下山開始。（12：00）下山は、来た道を引き返し4合目からは、霧のなかの幻想的なブナ林の紅葉を堪能しました。大山寺阿弥陀堂到着（14：50）大山寺本堂参拝
ジャンボタクシーにて大山寺発（15：30）→米子駅発（16：27）→玉造温泉駅着（17：12）→玉造温泉「長楽園」着（18：25）豪勢な宿で、大きな内風呂、食事も個室で懐石料理を味わい、反省会を開き就寝。

3日目「11月2日（水）」

6：00起床 長楽園日本一大きい混浴露天風呂入浴、天皇陛下の御泊所と庭園見学、朝食
玉造温泉「長楽園」発（8：35）→玉造温泉駅発（8：51）→安来着（9：13）
足立美術館着（9：35）実業家「足立全康」が心血を注いだ庭園美術館見学、横山大観、竹内栖鳳、川合玉堂、上村松園、橋本関雪、近代日本画の巨匠作品、並びに近代陶芸の巨匠北大路魯山人作品の鑑賞。
足立美術館発（12：00）→安来発（12：26）→松江（12：40）→
松江温泉駅発「一畑電鉄」（14：47）→出雲大社前（15：40）→出雲大社参拝 伯耆大山登山無事のお礼並びに来年度の安全祈願 出雲大社前駅発（17：23） 出雲市駅着（17：55）

出雲市駅発（18：53）なかなか乗車することができない寝台列車で、ラウンジで反省会、各人個室寝台にて就寝

4日目「11月4日（木）」

→ 東京到着（翌7：13）解散

*今回の伯耆大山登山は、標高780m～標高1709m・標高差約900m・片道2.8キロ、丸太で組まれた階段が整備され登り易く、天気には恵まれませんでしたが、それなりの満足感を得られた登山でした。出雲地方の観光もなかなか足を延ばすことがないので千載一隅のチャンスを得た感じでした。最後に全国旅行割引・大人の休日割引を活用し予算額より大幅に安価で行けたことに感謝します。お疲れさまでした。

以上

